

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、診療報酬請求データ（医科レセプト、DPC）の記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	生成 AI を活用した OMOP CDM 構築プロセスの効率化検証
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長
研究責任者（個人情報管理者）	医療情報学講座 教授 木村映善
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年3月31日
対象となる方	2019年～2025年間に当院に来院・受診された患者
利用する試料・情報等	2019年～2025年間の間からサンプリングした3ヶ月分の電子カルテ・レセプトデータ・DPCデータ
研究の概要（目的・方法）	国際的な連合解析基盤構築としてのスタンダードとなっている Observational Medical Outcomes Partnership Common Data Model （以下、OMOP）への対応は、我が国の研究者にとって喫緊の課題です。しかし、医療機関由来のデータはこれまでの経緯から独自コードやデータ形式で運用されており、標準化されたデータへの変換には多くの工数を費やすことが課題になっていました。本研究では生成 AI を利用した OMOP への変換支援環境を開発し、参加障壁を引き下げることが期待されます。この研究の成果によって、我が国の医療機関が国際的な連合解析に参加し、RWD からのエビデンス抽出を加速することに貢献することが期待されます。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は作成いたしません。院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。

	また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部 医療情報学講座 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5695

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

【研究組織】

研究代表者	国立大学法人愛媛大学 教授 木村映善
共同研究機関	株式会社ヘルスル 代表取締役 萩野颯太
既存試料・情報の提供のみを行う機関	該当なし